県政報告
宮城県議会議員

わたなべ 忠悦

無所属の会
2019.1.31
vol.16

寒さ厳しき候，皆様に於かれましてはお元気でご活躍の事と存じます。

第366回の県議会は，平成30年11月26日に開会されました。

議員発議で，県いじめ防止対策推進・議員定数に関する条例や意見書として，災害対策の充実強化や商業捕鯨の再開を求めるなど4件，平成30年度一般会計補正予算261億円の追加を始め，52議案を可決致しました。

中島前議長の辞任を受け，後任に佐藤光樹議員が第42代議長に選任されました。また，各常任委員会や特別委員会の改選もあり，新体制のもと12月17日に議会は閉会致しました。

11月29日には，市内東和町米川地区の来訪神行事であります「米川の水かぶり」が，他の伝統行事と共にユネスコ無形文化遺産に登録されました。地域の活性化や交流人口の増大につながる糸口となりますこと，皆様と共に喜びたく存じます。

また，伝統文化の魅力を国内外に発信し，インバウンド誘致などさらなる観光振興につながる事をご期待申し上げます。

今後とも，皆様のご指導を始めご意見・ご提案・ご要望をお寄せ頂きますようお願い致します。

寒さが続きますので，ご自愛を頂きご活躍をご祈念申し上げます。

宮城県議会議員　わたなべ　忠悦（ちゅうえつ）

活動アルバム　平成30年後半～平成30年12月

2019年　知事への表敬訪問
（登米・栗原商工会各会員年頭の挨拶）

H30.5　加美八幡堂太陽光発電所

予算総括質疑にて（H30.10）

神門通りおもてなし共同組合訪問（H30.8）

北上川左岸整備促進同盟会の要望活動（H30.11）

若者との意見交換会（H30.10）

江田島市役所訪問（H30.8）

市内トピックス

みやぎ県北高速幹線道路が12月25日開通致しました。

みやぎ県北高速幹線道路開通式（平成30年12月25日）

みやぎ県北高速幹線道路は，東北地方の大動脈である東北自動車道と，復興道路として加速的に整備の進む三陸自動車道を結び，県北地域の広域連携を強化する，富県宮城の実現に欠くことのできない地域高規格道路であり，東日本大震災からの「復興支援道路」としての役割も担う重要な東西交通軸です。

三陸自動車道登米ICから登米市中心部の佐沼ICまでの4.7km区間については，2期中田工区として，平成23年度から整備を進めてきたところであり，12月25日に供用を開始いたしました。

今回の供用により，沿岸部と内陸部を結ぶ信頼性の高い広域道路ネットワークが形成され，登米市中心部の交通渋滞の緩和や，地域産業の振興，観光交流の活性化，救急医療活動への支援が図られるとともに，本県の復興にも大いに寄与するものと期待されています。

祝　ユネスコ無形文化遺産登録

2018年11月29日

ユネスコ無形文化遺産に「来訪神：仮面・仮装の神々」の来訪神行事であり，国の重要無形民俗文化財にも指定されている東和町の「米川の水かぶり」が登録されました。この行事は毎年2月の初午の日に五日町の男たちによって行われる奇祭です。

平成30年9月　特別予算委員会

農業問題 － 産出額

質　問

【農業産出額増への施策】について

農業を元気にするため，1995 年当時の農業産出額 3,000 億円台を目指す施策を講じる必要があると考えますがいかがですか。

【答弁】武藤農林水産部長

大規模な農業法人や先進的な園芸法人の動きの加速化を目指し，だて正夢を先頭にしたブランド化戦略・仙台牛を中心にした畜産振興などにより，「みやぎ食と農の県民条例基本計画」に掲げている，平成 32 年度の農業産出額目標の 2,015 億円を目指し，しっかり取り組んでまいります。

質　問

我が県は耕地面積当たりの農業産出額が低く，面積当たりの生産性を一層高める施策が必要と考えますがいかがですか。

【答弁】武藤農林水産部長

水田をフル活用しネギ･馬鈴薯などの加工業務用野菜の露地園芸を一層拡大してまいります。ICTを活用して最先端技術や機械化体験の導入，直播栽培※を推進し省力低コスト化の取り組みを進め，農業者収益性の向上を図ります。

※直播栽培
水田に直接種をまく栽培方法

平成30年11月　予算特別委員会

農業問題 － 畜産

質　問

【農業や畜産業の関係】について

牛マルキン※について，我が県は全国算定により対応していますが，地域算定を選択している県では 10 万を超える補填金が交付されているようです。それについて県の認識を伺います。また，次年度は補填金の算定方法の変更の年次に当たりますが，その際は生産農家の意見も十分聞いた上で判断すべきと考えますがいかがですか。

【答弁】武藤農林水産部長

我が県の肥育経営が全国平均に比べて収益性が高いので，全国算定による安定が図られていると認識しております。基金を管理する一般社団法人宮城県畜産協会とともに検討していく事になりますが，現場の意見を十分に聞きながら進めてまいります。

※牛マルキン
肉用牛肥育経営安定特別対策事業
肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に，生産者の拠出と機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の 9 割を補てんすることにより，肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的としています。

農業問題 － 米作

質　問

今年の米の作柄に対する県の認識について，国の作況指数と農家の実感との違いが生ずる要因をどうお考えですか。

【答弁】武藤農林水産部長

圃場ごとのバラツキが多いとか，例年より収量が少ないとの声を聴いているので，国から公表される最終収穫数量の結果を注視してまいります。

作況指数の算出にあたり，国では 1.85mm，生産現場の多くの農家では 1.9mm の振り目を使用し選別している現状があり，この違いが国の作況指数と農家の実感との違いの要因の一つと考えます。

平成30年11月　予算特別委員会

環境整備 － 危険歩道 1

質　問

【公共事業等推進費】について

路幅が狭い，車道との高低差が大きいなど，県内には危険な歩道が多いと考えておりますが，県の認識と対応をお示し下さい。

【答弁】桜井土木部長

地域との意見交換で，ご指摘関連の現状，安全面での課題の把握に努めている状況です。地域住民・自治体の方々と意見交換を行いながらの路面標示等々の注意喚起を含め，可能な限りの対策を講じてまいります。

環境整備 － 危険歩道 2

質　問

安全確保のためにも歩道の除雪を検討する必要があります，また，春先には沿道の住民から道路補修の要望があるものの，補修のペースは遅く県民の意識とのズレを感じますが認識はいかがですか

【答弁】武藤農林水産部長

歩道の除雪については，他の自治体の取組を研究しながら，除雪の負担方法を検討していきたいと考えます。

県道の維持管理は，管理業者や職員のパトロール中に早期発見に努めております。小さいポットホール等はパトロールの中で応急に対応をしております。今後も可能な限り早期対応に努めてまいります。

ご意見お問い合せ
宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所
所在地：〒 987-0511　登米市迫町佐沼字大網 534
TEL：0220-23-7757　FAX：23-7838
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp
オフィシャルウェブサイト http://watanabe-chuuetsu.jp
渡辺忠悦　検索

近所にお越しの際は，どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいのでお話をお聞かせ下さい。